じんけんひろば
NO・１３

悲劇のランナー

今年は１年を通してまさにスポーツに明け暮れた１年でした。特にアジア大会は愛知県で行われ、歴史的な記録ラッシュに沸きました。でも、なぜ日本のメディアはメダルの数ばかり大騒ぎするのでしょうか？メダルはそもそも頑張った選手を称えるためにあるのであって、決して国の力を誇示するものではありません。こんなとき、私はいつもある選手のことを思い出します。

それは１９６４年、アジアで初の大会であった東京オリンピックのときのマラソン男子で走った「円谷幸吉」選手です。細かいことは省きますが、このとき無名であった円谷（敬称省略）は最終国立競技場でのトラックに入ったときは2位であったが、イギリスのヒートリー選手にかわされ３位でゴールした。優勝したのは、裸足のランナーとして有名となったエチオピアのアベベ選手。

この時の記者会見では次のメキシコシティーオリンピックに意欲を見せていましたが、開会直前に自ら命を絶ってしまいました。

この時彼は陸上自衛隊に所属しており、隊では銀以上のメダルを彼に課し、当時婚約していた女性との結婚もできないほどの練習に明け暮れていました。そんな円谷選手との付き合いに疲れた彼女は別れを告げ彼のもとを去ってしまいます。自衛隊の上官は結婚よりもオリンピックを優先することをある意味強要したのです。これは、彼が命を絶つ大きな要因になったことは当時の週刊誌や新聞記事でも取り上げられていました。

メキシコシティーオリンピック大会を控えた１９６８年レースを間近に控えたときに不幸にも足を痛め長期の入院生活を余儀なくされていました。こういったことが彼の心を締め付け、１９６８年１月、彼は自衛隊の宿舎で頸動脈を切って自殺してしまいます。彼の死は多くの国民を悲しませ、後にこのことは、大学フォークデュオのピンク・ピクルスにより楽曲「一人の道」として知られることになりました。

円谷選手の遺書を載せておきましたので、ご覧ください。詳しく知りたい方はネットで検索すれば出てきますので、お試しください。

スポーツは、選手のための競技会であって、国のためではないことを再確認しました。

参考資料：フリー百科辞典『ウィキペディア（wikipedia）』　　（ 文：森本）

円谷選手の遺書

父上様　母上様三日とろろ美味しゅうございました
千し柿、もちも美味しゅうございました
敏雄兄、姉上様、おすし美味しゅうございました。
勝美兄姉上様,ぶどう酒、リンゴ美味しゅうございました
巌兄姉上様、しそめし、南蛮づけ美味しゅうございました
喜久造兄姉上様、ぶどう液、養命酒美味しゅうございました
又いつも洗濯ありがとうございました

幸造兄姉様、往復車に便乗させて頂き有難うございました
モンゴいか美味しゅうございました
正男兄姉様、お気を煩わして大変申し訳ありませんでした
幸雄君、秀雄君、幹雄君、敏子ちゃん、ひで子ちゃん、良介君、敬久君、みよ子ちゃん、ゆき江ちゃん、光江ちゃん、彰君、芳幸君、恵子ちゃん、幸栄君、裕ちゃん、キーちゃん、正嗣君立派な人間になってください

父上様母上様、幸吉は、もうすっかり疲れ切ってしまって走れません。
何卒お許しください
気が安まる事なく、御苦労、御心配をお掛け致し申し訳ありません
幸吉は父母上様の側で暮らしとうございました

11月のお知らせ

講座名	日時
しあわせボディ	毎週月曜日　１３：３０～１５：００
自力整体	毎週金曜日　１３：３０～１５：００
将棋教室	毎週水曜日　１３：００～１６：３０
健康教室	１１月　５日（木）　９：３０～１１：３０
料理教室	１１月２４日（火）　９：３０～
ハンドメイド	１１月１６・１７日（月・火）　１０：００～１６：３０



2026年（令和8年）
一条ふれあい会館だより　11月
阿波市吉野町西条字東須賀94－3　TEL･FAX088-696-2487



地蔵寺の大銀杏